

アメリカ チャペルヒル高校 小野 翔希

留学期間：R6.8～R7.6（1学年間）

私は7月中旬から交換留学生として、アメリカのジョージア州に位置するチャペルヒルハイスクールに通っています。アメリカ人だけでなく、少数ですがアジア系の生徒も在籍しています。生徒や先生方の多くはアフリカン・アメリカンです。アメリカに来てから約4ヶ月が経ちますが、日本との文化の違いに今でも驚かされることがあります。それでも、ファミリーの一員として迎え入れられ、少しずつアメリカの生活に馴染んでいることが嬉しく感じられます。

私は学校のドラマクラブに所属しています。本番に向けて、役者として毎日16時から19時まで他のメンバーと練習に励んできました。

このクラブ活動を通して気づいたのは、アメリカの生徒は自分の意見や演劇を恥ずかしがらずに発表できるということです。日本では劇の練習でも恥ずかしがって積極的に取り組む人が少ないように感じます。しかし、アメリカのクラスメイトは音読の練習でも感情を込めて大きな声で読み上げたり、自分の意見をためらわずに発表したりしていました。他の授業でも同じような雰囲気がありました。その影響で、私も自然と発表や演劇への抵抗がなくなり、堂々と取り組めるようになったと感じています。

また、クラブを通して人種についても学ぶ機会がありました。ある日、新しい台本が配られました。その中に、「私は白いクレヨンのようなだわ」というセリフがありました。日本であれば特に気にすることのない言葉ですが、アメリカでは事情が異なります。特に、私の学校はアフリカン・アメリカンの生徒が多いため、「white」「black」といった表現には非常に敏感です。そのため、そのセリフは別の色に訂正されました。この出来事をきっかけに、アメリカでは人種に関する言葉が慎重に扱われていることを改めて実感し、自分の発言にも注意を払うようになりました。

現在、私は、英語力の向上に力を入れています。ホストファミリーと一緒に映画を見たり、深い話をしたりして、わからない単語は携帯にメモしています。ただメモするだけでは忘れてしまうため、覚えた単語を実際の会話で使えるように心がけています。また、独り言や頭の中で、英語で考えるなど、英語中心の生活を意識しています。

最後になりますが、このような貴重な経験ができるのは家族や学校の先生方、ふるさと納税者様の支えがあってこそです。今後とも精進して参りますので、引き続きご支援の程よろしく願いいたします。



ホストファミリーでクリスマスコーデ



友達とアイススケート



ホストマザーの家族と一緒にフロリダの動物園に行ってワニと一緒に撮影



学校の PEP RALLY



ドラマクラブの練習風景



ホストマザーの弟さんファミリーと一緒に遊園地



学校の化学の授業風景



友達とその友達たちと Home coming



家族みんなでクリスマス映画鑑賞



ハロウィンで仮装をして Trick or Treat